

令和6年度
校長だより



あかつき

6月号



～ あかつき山の麓から感謝を込めて ～

丹波市立新井小学校 校長 谷川知美

今年の梅雨は、例年よりかなり遅いようですが、美しい紫陽花が咲く季節となりました。地域の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素から本校の学校教育活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

5月の水泳（2024）

ペットボトルで浮く練習



例年なら6月上旬にプール掃除をして、「やったあ、水泳の時間や！」と子どもたちが大はしゃぎする季節です。

しかし新井小学校では、泳ぐ時間を確保しつつ、5月に期間を集中しての水泳学習を終えました。ピュアスポーツ柏原（PSK）さんを活用させていただいたからです。

日常生活で川や水辺に行く機会が増える前に、着衣水泳を経験したり個人の泳力を伸ばしたりすることができました。

天候に関係なく、安心した環境で学習する良い機会となりました。

〇〇〇に何という言葉が入るでしょう

教室は 〇〇〇〇う ところだ

みんなとしどし手を上げて

〇〇〇った意見を 言おうじゃないか

〇〇〇った答えを 言おうじゃないか

何が入ると思われましたか？

【ヒント】水泳が終わり、子どもたちは落ち着いて学習をしています。その子どもたちに、授業中の先生方が「〇〇〇ってもいいよ」「よく考えた意見だね」としばしば声をかけています。そして、私が子どもたちに願う姿でもあります。

（答えは裏面をご覧ください）

先日、読み聞かせをするために本を探していると、一冊の本が目にとまりました。上の文章は小中学校の教員をされていた蒔田晋治(まきたしんじ)さんが書かれたものです。（1925～2008年）

私が教員になったころには、すでに有名な詩になっていて、多くの教室に貼られていました。2004年には絵本として出版もされています。

当時の私は先輩に教えてもらい、「〇〇〇に入る言葉は？」と、子どもたちに毎年クイズを出したのを覚えています。

クイズなので間違った答えがたくさん出ます。それを契機に、間違えることから学びあえたり、勇気をもって挑戦できたりする学級をつくろうと考えたからです。

「教室はまちがうところだ」

蒔田 晋時（まきた しんじ）

教室はまちがうところだ
みんなとしどし手を上げて
まちがった意見を 言おうじゃないか
まちがった答えを 言おうじゃないか

まちがうことをおそれちゃいけない
まちがったものをワラっちゃいけない
まちがった意見を まちがった答えを
ああじゃあないか こうじゃあないかと
みんなで出しあい 言い合うなかで
ほんとのものを見つけていくのだ
そうしてみんなで伸びていくのだ

いつも正しくまちがいのない
答えをしなくちゃならないと思って
そういうところだと思っているから
まちがうことがこわくてこわくて
手も上げないで小さくなって
黙りこくって時間がすぎる

しかたがないから先生だけが
勝手にしやべって生徒はうわのそら
それじゃあちっとも伸びてはいけない

神様でさえまちがう世のなか
ましてこれから人間になろうと
している僕らがまちがったって
なにがおかしいあたりまえじゃないか

うつむきうつむき
そうっと上げた手 はじめて上げた手
先生がさした
どきりと胸が大きく鳴って
どきどきと体が燃えて
立ったとたんに忘れてしまった
なんだかぼそぼそしゃべったけれども
なにを言ったかちんぷんかんぷん
私はことりと座ってしまった

体がすうっと涼しくなって
ああ言やあよかった こう言やあよかった
あとでいいこと浮かんでくるのに

それでいいのだいくどもいくども
おんなじことをくりかえすうちに
それからだんだんどきりがやんで
言いたいことが言えてくるのだ

はじめからうまいこと言えるはずないんだ
はじめから答えが当たるはずないんだ

なんどもなんども言ってるうちに
まちがううちに
言いたいことの半分くらいは
どうやらこうやら言えてくるのだ
そうしてたまには答えも当たる

まちがいだらけの僕らの教室
おそれちゃいけないワラっちゃいけない
安心して手を上げろ
安心してまちがえや

まちがったってワラったり
ばかにしたりおこったり
そんなものはおりゃあせん

まちがったって誰かがよ
なおしてくれるし教えてくれる
困ったときには先生が
ない知恵しぼって教えるで
そんな教室作ろうやあ

おまえへんだと言われたって
あんたちがうと言われたって
そう思うだからしょうがない
だれかがかりにもワラったら
まちがうことがなぜわるい
まちがってることわかればよ
人が言おうが言うまいが
おらあ自分であらためる
わからなけりゃあそのかわり
誰が言おうとこすこうと
おらあ根性曲げねえだ

そんな教室作ろうやあ

教室や学校生活で、子どもたちが自分らしく、自分の気持ちを語ることができるように、やりたいことにチャレンジできるように、全教職員で取り組んでいます。大人も子どもも、人は間違えます。そこから何を学ぶかが大切です。ちょっとした勇気を持てるように、地域の皆様も、子どもたちの見守りをよろしくお願いします。

